

11月26日アナリスト向け決算説明会質疑応答(2014年3月期中間決算)

- Q. アジアの売上計画でタイが減収減益になるのに対して、アジア全体で上期より下期が増収増益なる理由は？
- A. タイは上期に対して下期10%減益となるが、中国・インド・マレーシアは増収増益になる。増収要因は2輪・家電（エレクトロニクス）が好調のため。自動車関連の減益分を2輪関連がカバーする状況。HDDは上期と下期は横ばいとなる。
- Q. 日本の営業利益は上期95億円に対して下期が135億円に膨れるが、台数前提とけん引役は？
- A. シートと産機が伸びる。台数前提:985万台はカーメーカーの通期予想に若干自社での傾向を加味した。
- Q. 合理化の今期および来期の具体策があれば教えてほしい。
- A. 直接効くのは材料・比例費の削減。歩留まりの改善・購入価格の低減などの活動になる。DDSは駒ヶ根で工場集約を行い全体の効率化を図っている。
- Q. シートが下期良くなる要因の詳細を教えてほしい。
- A. 国内の生産量が増えることによる、主力4工場の操業度アップが大きな要因。
- Q. HDDサスペンションのシェアの状況・今後の見通し
- A. シェアは40%程度で安定。今後もシェアアップを目指して行く。
今期のDSA比率は36%となっている。
- Q. 来年度自動車生産台数の見込みについては？
- A. 現在は予算策定に向けて調査中である。国内は消費税の駆け込み需要の反動減はありと想定している。併せてHDDの台数動向も注視していく。
- Q. ばねの収益状況について？
- A. 上期は各地域で好調を維持できた。下期はタイの減速をその他地域でカバーし上期並みを確保している。
- Q. 来期に向けて設備投資はどのような計画か？
- A. シートは中国鄭州・インド・インドネシア、ばねはメキシコ。新興国中心の投資を展開。ばねはコンパクトラインを導入していく。

Q. 投資金額の来期のターゲットは？

A. これまでは 200～300 億円（多い時で 350 億円）で推移していたが、具体的な計画はこれからになる。

Q. HDD サスペンションのサスカウントの中期的な見方は？

A. ニアラインの増加でディスク枚数が増えると考えていたが、現時点では以下のとおり
13 年：3.52、14 年：3.55、15 年：3.60 の微増の見通し。

以上